

淀屋橋

よどやばし ● Yodoya-bashi
〈土佐堀川〉

大阪市役所沿いの土佐堀川に架かっている淀屋橋。初代の橋は江戸時代に架けられた橋で、当時を代表する豪商淀屋常安（よどやじょうあん）が、淀屋橋のたもとに開設した米市場へ向かう人や、中之島辺りの蔵屋敷へ往来する人のために架けたとされている。淀屋橋の橋名も淀屋にちなんで付けられたようだ。常安の名は他にも常安町や常安橋など、大阪に多くの足跡を残している。

当時から明治に入っても木橋だった橋は、明治18(1885)年の大洪水で流失した。現在の橋は、第一次都市計画の一環として意匠設計の懸賞募集によるもので、昭和10(1935)年に完成したものだ。

付近には、日本銀行大阪支店や大阪府立中之島図書館、中央公会堂などの近代建築が点在しており、その景観にマッチした重厚感とデザイン性の高い淀屋橋は、大阪府が実施した橋に関する意識調査で、大阪府民が最も魅力を感じる橋として選ばれた。

また、地下鉄や私鉄の駅名にもなっているこの橋は、大阪で最も多くの人に利用されているといっても過言ではない。

